

誰もが安全に使えて、効果も出る 「レーザー脱毛のシートベルト」を開発

高橋医院院長 高橋知之

現在のレーザー脱毛は、機械の性能のみに依存している状況であり、私はエステティックのレーザー脱毛が医師法17条の「判断と技術がなければ…」という文言に抵触しないと考えていますが、それでも事故が起こってしまえば大問題になるという状況は変わりません。だからといって安全重視で出力を下げれば効果が出ず、契約不履行になり、信頼が得られません。このままではトラブルは不可避で、医師法違反も免れないという八方ふさがりで、エステティックのレーザー脱毛の未来はないと思われまふ。ましてやレーザーから光脱毛へと移行が進むなか、既存の機器を改善していく意欲を持ったメーカーもなく、高価なレーザー脱毛機を購入したサロンにとっては死活問題でしょう。既存の機械を使い、誰もが安全に使えて効果の出る工夫が必要なのです。

そこで私が発明し、相談に訪れるエステティックサロンの方に提案しているのが、グリッドスペイサー(写真)という器具です。格子状の器具をレーザー機器の照射部分

に取りつけることで、光源と肌との距離を一定に保つことができ、出力を上げてもトラブルが起こりにくくなります。これで、機械に依存していても安全で効果の出る施術が可能になるのです。私はこの器具をレーザー脱毛機のシートベルトだと思っています。車の運転中にシートベルトを着用していれば、事故が起こってもトラブルを最低限に抑えることができるのと同じ考え方です。グリッドスペイサーは機種を問わずに使え、実働半年で40店舗、年内には70店舗のサロンが採用を予定しています。講習を受けないと販売できませんが、その後は入会金5万円と年会費2万円をお支払いいただければ、どんな小さなことでもEメールで相談を受け、相談内容や私からの回答を全会員にお知らせしています。

消費者の目がますます厳しくなるなか、明確な安全対策をしているサロンが支持され、生き残っていくと思います。

